

マンタの 棲む島

Home of The Manta Rays

Ishigaki Islands

Photo & Text = **Takaji Ochi**

Special Thanks = **Diving team UNARIZAKI Ishigaki**

Edit = **Satomi Kikuchi**

Design = **Panari Design**



国内で最もマンタ遭遇率が高いといわれ
マンタ狙いで潜りに行くダイバーも少なくない、石垣島。
特に夏のベストシーズンにマンタが安定して見られるのは
国内ではおそらくここくらいではないだろうか。
石垣島がマンタの棲む島だという理由。

また、魅力だけではなく、ポイント別で見られる環境や、潜り方について紹介していこう。



「石垣島＝マンタの棲む島」の理由

「マンタほど優雅に泳ぐ生き物はいないな」
さまざまな海でマンタには何度も遭遇したことがあるが、いつも思うのはそんなことだ。撮影するにしても、ジンベエザメなどの大型のサメやエイよりも、より構図を気にしてアプローチしている。

今まで石垣島には何度も潜りにきているが、マンタメインで取材したことはあまりなかった。

石垣島でマンタがよく見られるのは6月から11月にかけて。日本の他のエリアでは、冬の時期に見られる海が多いなか、石垣島では、夏のハイシーズン＝マンタの

「マンタシティポイント（以下MCP）」がある。

また、小浜島と西表島間のチャネル「ヨナラ水道」では、かれこれ30年程前は、西表側で多くのマンタが見られていて、「マンタの上を歩いて西表から小浜まで渡れた」という、まるで「日本昔話か!」みたいにとくさん見られていた時期もあったそう。しかし、それも今は昔。しばらくの間、マンタがまったく見られなくなっていた。

それが3年前程、今潜っているエリアが発見されてから、また頻繁に見られるようになった。2年前の秋には、「パナリビックコーナー」という新ポイントも発見された。これはどちらかというと冬のポイントだが。

とにかく、これだけたくさんのマンタポイントがあるということで、「石垣島＝マンタの棲む島」と断言しても誰からも異論は出ないはずだ。多分……。

ハイシーズンでもあるのだ。

よく見られるポイントとしては、古くから潜られている「マンタスクランブル」、その西側には、7年程前から潜られるようになった



01、「MCP」は人気のポイント。混雑を避けるため、1度に5隻までしかエントリーできない

02、海底は、丘陵（きゅうりょう）のようなサンゴのリーフが連なり、マンタはその上でクリーニングを行う

03、サンゴのリーフの上を移動していくマンタ

04、クリーニングに姿を見せたマンタ

Manta Scranble & Manta City Point



マンタが熱いポイントである、「石垣マンタスクランブル」と「MCP」。昔から存在し、石垣島の中でもとても人気がある。

魅力はマンタの遭遇率と、なんといっても潜りやすいこと。港からポイントまで近距離にあり、マンタがクリーニングに来る浅いリーフの周りで、着底して観察することができる。よって、ダイビング初心者でも比較的潜りやすく、安心してマンタの様

子を楽しむことができる。「初マンタを見た！」という人にもオススメだ。

シーズン中、どうしてもダイバーの数が多くなってしまいが、自分はマンタとダイバー絡みの写真を良く撮影している。また、下から見上げて観察できるので、個体識別に興味があればそれもおもしろいかもしれない。

ビギナーからでも安心して楽しめる マンタスクランブル & MCP

こんなにたくさんのマンタが頭上を旋回する、ラッキーなシーンに遭遇するチャンスも（撮影＝曾我勲）

Manta Scramble & Manta City Point

ルールを守り、 いつまでもマンタが来る海を!

うなりざき石垣店スタッフ 高梨太志くんが解説



02



01, 着底して静かに観察していれば、マンタが頭上を通過してくれること(撮影=曾我勲)

02, 「MPC」へのエントリー順番待ち中

「石垣島の中でも人気が高いこの2つのポイントは、ブイがあるのでエントリー、エキジツは同じ場所。初心者でも潜りやすいポイントです。サンゴの群生も美しいので、そちらもお見逃しなく。

この2つのポイントは潜る際のルールがあります。『お触り・追いかけて禁止』、『観察の際は着底する』、『吐いた泡を当てない』、『マンタの根には登らない』。

また、毎日たくさんの船が来ますが、一度に潜れる船は5隻まで。6番目に到着した場合、順番を待たなくてはなりません。

少し厳しいかもしれませんが、守ることによって、いつまでもマンタが見られる海を継承していけると考えています。

野生の生物なので当然いつもそこにいるわけではなく、ときにはしばらく待つことも。そんなときはぜひ近くにいる魚たちに目を向けてみてください。特に、色鮮やかなチョウチョウウオは、見やすいうえに、種類が豊富。2匹揃って泳ぐ姿は愛らしく、サンゴをついばむ様子も見て飽きません。

彼らは、南国・石垣島に来た気分を盛り上げてくれるはずですよ!

彼らは、南国・石垣島に来た気分を盛り上げてくれるはずですよ!

彼らは、南国・石垣島に来た気分を盛り上げてくれるはずですよ!

石垣島のマンタ、すこいですよ!



Profile

高梨太志くん……石垣歴9年のポッチャリぼちゃぼちゃ太鼓腹。太っちゃいるけど機敏に動いて、素敵な笑顔でお客様を癒します。3度の飯とおやつの次にマンタが大好き。ニックネームは「フトジ」です。

01



アミチョウチョウウオ



シチセンチョウチョウウオ



ゴマチョウチョウウオ



ウミツキチョウチョウウオ



チョウチョウウオ



イテンチョウチョウウオ



ハナグロチョウチョウウオ

Yonara-Suido



石垣島には何度も来ているが、初めて潜った「ヨナラ水道」。

西表島寄りだが、石垣島を拠点としても、ボートに乗って35分ほどで到着する。

こちらはドリフトダイビングのポイント。体が固定できないので、潮の流れによってはあっという間にマンタが通過してしまうことになりかねない。

このように少し遠征で、中級者以上向

きのポイントだが、白くてきれいな砂地が広がる海底環境は美しく、マンタも映えるので特にフォト派ダイバーにはたまらないだろう。プロとしても、何度でも潜りたいポイントの1つだ。

今回は、今回見ることでできなかった、複数枚のマンタが隊列を組んで泳ぐ、通称「マンタレイン」を、美しい白砂の上で激写したいと思っている。

美しい白砂と マンタのコントラストを満喫

ヨナラ水道

砂紋の砂地が幻想的、優雅に泳ぐマンタともマッチして気持ち良くダイビングが楽しめる

穴場ポイントで マンタ接近の大チャンス!

うなりざき石垣店スタッフ 山内友起子ちゃんが解説



石垣島では珍しいドリフトダイビング

ナンヨウキサンゴに群れる、キンメモドキとマンタ

「小浜島と西表島の間位置し、チャンネル内にあるクリーニングステーション。大潮の下げ潮前のタイミングに合わせて潜り、水深約30mの砂地にマンタがホバリングする根がいくつかあるので、ドリフトしながらマンタを探します。流れがあるので中級者以上がオススメですが、『着底して見る』というルールがないので、マンタと

目線になれるのは他のポイントでは楽しめない光景。

ビギナーが多い石垣島ではそれほど多く潜りに来ないので、船数も比較的少ない、穴場ポイントです。

さらに、先にエントリーしたチームから10分の間隔を空けて潜るルールがあるので、ダイバーだらけになることが少なく、マンタに近づける可能性がさらに上がります。

どこまでも広がっている美しい白砂とマンタの黒のコントラストがとても美しく、写真映えもバッチリ。安全停止に入る際、上から見るマンタのかっこ良さもお見逃しなく。

時には編隊を組むこともあり、過去に8

枚のマンタが並んでいる様子は本当に圧巻でした! うねりがある日は、砂地にできる波紋の広がりも幻想的ですよ」

Profile
山内友起子ちゃん…
…うなりざき石垣店歴4年目。ヨナラ水道を愛し、マンタを愛する、純北海道産の石垣島女性ガイド。お客様を笑顔にするため日々奮闘中。バッチリまつ毛は自前です。



幻想的で、感動すること間違いなし!



何枚ものマンタが連なる、マンタトレインが見られるチャンスも



マンタと一緒に写真に収まるくらい、近くでマンタを見られる、幸せなひととき

Home of The Manta Rays マンタの棲む島
2018 Spring [Ishigaki Island]



ナンヨウキサングの周りに群れるキンメドキの動きも、美しく必見

- 01,突然姿を見せた、カマストガリザメ
- 02,動きがかわいい、イロブダイの幼魚
- 03,カラフルなサガミリュウグウミウシ
- 04,スカンテンジクダイと泳ぐケラマハナダイ
- 05,海藻の間をさまようセダカカワハギ
- 06,アカヒメジの群れ

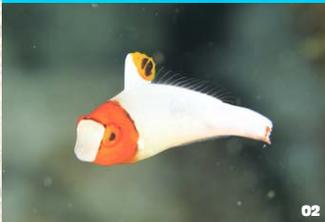


ツバメウオとアオウミガメが、仲良さそうに一緒に泳いでいた

レア種にマクロ生物も！マンタ以外も忘れずに



01



02



03



04

“マンタの棲む島”ということで紹介してきたが、もちろんマンタ以外にも魅力は盛りだくさん。他の見どころも紹介しよう。

「ヨナラ水道」では、いくつかあるうちの最後の根に、ナンヨウキサングにキンメドキが流れに逆らって固まっている。見応え抜群で、マンタを満喫した後にこんな景色が見られるのは、何とも“お得”なポイントだ。

それ以外のポイントでも、カマストガリザメやトンガリサカタザメなど、石垣島ではレアな生物に遭遇できるチャンスもある。今回は巨大なアオウミガメにも遭遇し、いい意味で最後まで気が抜けなかった。マクロ生物も豊富なので、ぜひそちらにも目を向け楽しんでほしい。



05



06

石垣の海
最高ですよ!

石垣の海をオールマイティに熟知した経験豊富なガイドと、元気な若手ガイドがみなさんをお待ちしています

いつも笑顔で
お迎え
します~

マクロも
サンゴの産卵も
確実に
ご案内します

レンタル機材も
豊富に
取り揃えて
います!



マンタを狙うなら、うなりざき石垣店!

石垣島は年間を通して、マンタとの遭遇率が高い島です。

のんびり見るもよし、ドリフトで見るもよし。お客様のリクエストに合わせてどこへもお連れします!

海だけでなく、陸にも「マンタにまつわるオブジェ」がたくさんあるので、もちろんそちらへもご案内しますよ(笑)

マンタが見たいあなたは、ぜひうなりざき石垣店へ! スタッフ一同お待ちしております。

Profile

うなりざき石垣店店長・曾我勲さん……何かをリサーチし始めたらトコトン追求する探究心旺盛な性格。そんな曾我さんのガイドだから楽しめる海が、石垣島にはたくさんあります。

数多くある石垣島のダイビングサービス。一説には200以上もあるというから驚きだ。しかし、そんな中でも「ヨナラ水道」のマンタを狙って潜りに行けるサービスとなると限られてくる。

うなりざき石垣店では自社ポートが2隻あるため、ゲストのレベル分けをしてダイビングすることが可能だ。ビギナーは、「マンタスクランブル」や「MCP」、中上級者は「ヨナラ水道」など、全員が楽しめるよう気配りされている。

Diving Service うなりざき石垣店

〒907-0013 沖縄県石垣市浜崎町3丁目2-1-102
Tel.0980-88-6644
✉info-ishigaki@unarizaki.com
🌐http://www.unarizaki.com/ishigaki

01, うなりざき石垣店に2隻あるダイビング船のうちの1隻、ロイヤルスター号。2隻とも温水シャワー、広々としたデッキ

02, プリーフィングは船上にて。リクエストや疑問点など、なんでもどうぞ!

03, 「ヨナラ水道」のある小浜島の港には、巨大なマンタの展示台が!

04, もう1隻は、定員40名の石垣島最大級の大型クルーザー、ミス・ファンタジースター

05, 店内でのログ付けの様子



CAMPAIGN!

ダイビングとホテルが
セットのホテルパック

エンリッチタンク
1本¥550キャンペーン

好評開催中!

Click!
http://www.unarizaki.com/ishigaki/information



ご希望の方は、那覇→石垣島の朝1便(ANA、JAL)のみ空港送迎を行なっています

Home of The Manta Rays マンタの棲む島 2018 Spring [Ishigaki Island]